

決算審査特別委員会は議員七人で構成し、九月十四日に開きました。町長をはじめ関係職員の出席を求め、各会計を慎重に審査した結果、いずれも全会一致で認定しました。

企画

Q 定額給付金事業で不用額が出ているが、なぜか。

A 申請者に対する郵送代などの件数が想定より少なかったため。

Q 申請をしなかった人がいるということなのか。

A 受給率でいうと二六パーセントの方が申請をしていない。

総務

Q 消費生活相談事業について、何件の相談があり結果はどうだったのか。

A 四十九件の相談があったが、単純に解決というのではなく、相談してすっきりして帰った方や県の生活センターや弁護士相談を紹介した事例もある。

Q 資源ごみの抜取監視業務の効果はあったのか。

A ルールを守ることの啓発にはなっていると考ええる。

福祉保健

Q 子育て支援として三人乗り自転車の貸し出しをしているが利用状況はどうか。

A 百パーセントの利用がある。

Q 乳がん、子宮がん検診の無料クーポンを配布したが効果はあったのか。

A 乳がんは一六・四パーセント、子宮がんは一〇パーセント受診率が増加しているので、効果があった。



元気に育ってね



三迫第1公園のトイレ

建設

Q 児童虐待の早期発見の対策はしているのか。

A 健診も含めて保育所、幼稚園などにおいて連絡体制をとっている。

Q 町営住宅使用料の滞納額は増加しているのか。

A 増加はしていない。

Q 串掛林道管理事業の予備費は何に使ったのか。

A 梅雨時期の豪雨による陥没、斜面崩壊への対応に使った。

教育

Q 豊かな心を育てる体験活動推進事業の内容は。

A 海田東小学校の四年生が福山の少年自然の家で、自然の中での体験活動や集団生活をした。

Q 生徒遠征費の助成基準は。

A 交通費は全額、宿泊費は実費の半額が四千円のいずれか低い額。

水道

Q 青少年育成海田町民会議補助金の成果は。

A あいさつ運動の推進、登下校の見守り、子どもまちあそび事業など実施し、子どもたちの健全育成に効果があったと考える。

Q 今後の経営についてどう考えるか。

A 設備の耐震補強などの計画があり、財政的に厳しいと考える。



蟹原浄水場のろ過池